

「診療後の残余である病理組織検体を用いた小児腫瘍の発生・進展
機構の解明」研究へのご協力をお願い

研究責任者	慶應義塾大学医学教室 金井弥栄 電話番号 03-5363-3764
実務責任者	慶應義塾大学医学教室 金井弥栄 電話番号 03-5363-3764

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの診療の後に残った検体（ホルマリン固定パラフィン包埋標本・凍結組織検体）と診療情報を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに医学部長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

慶應義塾大学病院小児科におかかりで、小児腫瘍の診断で2012年4月以降に生検・手術を受けた方

2 研究課題名

承認番号 20221060

研究課題名 診療後の残余である病理組織検体を用いた小児腫瘍の発生・進展機構の解明

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部 病理学教室・小児科学教室

4 本研究の意義、目的、方法

お子さんに腫瘍ができる頻度はおとなの場合よりも低く、どうして病気になるのか、まだ分かっていないことが多くあります。現在お子さんの腫瘍は、遺伝情報がTCGAという4文字の暗号文で書き込まれている“遺伝子”に傷がついたり、遺伝子の修飾（メチル基などの飾りのつき方）に変化が起こったり、遺伝子からつくられるタンパク質などの量が変わってしまうことで起こると考えられています。このような腫瘍ができるもとになる変化のことを、“ゲノム異常”“エピゲノム異常”などと言い、まとめて“オミックス異常”などともいいます。この研究は患者さんの治療のために取られた生検・手術検体のうちの患者さんご自身の治療が終わった後に残った組織（普通なら念のため

め一定期間保管したのちに廃棄してしまう、診療後余剰検体である病理組織）を研究に使わせて
いただいて、この“オミックス異常”を調べることで、どうして病気が起こったかの理解を進め、病気を
間違いなく診断できるようにしたり、病気の治療方法をより良くすることを目指すものです。

5 協力をお願いする内容

- ① 治療開始前に生検を行い、あるいは治療のために手術を行った検体で、病理診断を行った際
に作成したホルマリン固定パラフィン包埋標本（病理診断を行った後に残った残余）
- ② 治療のために手術を行った検体で、病理診断のために使わなかった部分（余った組織）を凍
結して保管した試料
- ③ 年齢、性別、腫瘍の性質、治療の内容、治療の効き具合などの情報
を研究に使わせていただきたくお願い致します。

6 本研究の実施期間 研究実施許可日～2028 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

本研究で使わせていただく試料と情報から、患者さん個人が特定できるような情報（氏名・住所な
ど）をすべて削除して匿名化し、研究室では研究者自身がどなたのものか一切わからない形で使
用します。このため、研究室から患者さんのプライバシーが漏れてしまうことはありません。匿名
化のための対応表は、研究に直接参加しない個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理しま
す。研究終了後は、国の指針で決められた一定期間、念のため試料と情報を研究代表者が厳重
に管理して保管したあと、患者さん個人が特定できないようにして廃棄します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。また本研究の対象となる方また
はその代理人より、試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置
を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部病理学教室

住 所: 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

電 話: 03-5363-3764 担当者氏名: 金井弥栄（かない やえ）